



キーワードラリー「1200年神々の回廊」

塩竈をより深く楽しんでいただくため、「ゆめ博」期間中のイベントとして市内のみどころについて3つのコースを設定し、歩いて楽しめるキーワードラリーを開催します。

(1) 企画内容

塩竈の魅力テーマに、まち歩きをしながらより深く楽しんでいただくため、「神々の道」、「門前の道」、「海の道」と題した3つのモデルコースを設定。各『道』のみどころに設置されたキーワードを探し、専用はがきで応募すると抽選で30名に塩竈の特産品が当たります。

(2) 開催日

「ゆめ博 2018」期間（平成 30 年 9 月 28 日～10 月 31 日）の中の土・日
※「神々の道」「海の道」は祝日も開催

(3) 参加方法

- ①専用マップ・応募用紙を入手する。配布場所は塩竈市観光物産案内所です。（配布時間：8:45～16:00）
- ②コースを選び、キーワードを探す。各コースのおすすめポイントのうち、4か所にキーワードが設置されています。（「海の道」は5か所）どこにキーワードがあるかは行ってみてのお楽しみです。
- ③キーワードを並べ替えると塩竈にちなんだ4～5文字の単語が完成します。順に並べ替えて専用の応募はがきに記入し投函してください。（平成 30 年 11 月 10 日消印有効）※応募は、ひとつの『道』につきお一人様1回までとさせていただきます。



専用のマップ

～「海の道」はお得なチケットで！～

市営汽船の1日乗り放題券を「神々の回廊」開催日に販売します。

- ・発売期間及び利用可能日：「ゆめ博」開催期間の土・日・祝日
- ・販売場所：市営汽船貨物受付所（1番乗り場付近のプレハブ）
- ・販売価格：1,000円（中学生以上）
- ・対象：キーワードラリーに参加する方

※小学生は、「どこでもパスポート」または学校の名札を市営汽船乗り場貨物受付所に提示すると「うらと子どもパスポート」が発行され無料で乗船できます。

お問い合わせ

- 「神々の回廊」について
塩竈市観光物産協会（産業環境部観光交流課内）
Tel. 364-1165
- 「ゆめ博 2018」について
実行委員会（塩竈商工会議所内）
Tel. 367-5111

海の道

美しい海と大小の島々からなる「干賀の浦」。1200年前より幾多の和歌にも詠まれ、古から変わらず人々の心を和ませて風景を巡る道。

- お昼の準備を。
島にはコンビニや食堂はありません。昼食は民宿に予約するか、持参することをおすすめします。
- 市営汽船の発着時刻の確認を。
案内所、チケット売り場で配布しています「島歩きマップ」内掲載の時刻表で確認してください。



③ 槽のトンネル

自生するヤブツバキに覆われ、トンネル状の槽の道になっており、ここが菜の花と並んで春の浦戸の名物「槽のトンネル」と言われている。花に囲まれた道も美しいが、花が一面に落ちた道もまた風情がある。道端には野仏などもあり、歴史を感じさせる。



④ 夜泣き地蔵

槽のトンネルを抜け道路に出ると、正面に墓地の入口があり、そこに夜泣き地蔵と並んで六地蔵がある。夜泣き地蔵は、子供の夜泣きがなるとい伝えられ、各家々ではこのお地蔵様をお願いしたといわれている。北向きに設置されていたことから、北向き地蔵とも呼ばれている。



⑤ 朴島 (ほおじま)

江戸時代に伊達藩の軍用金や貴重な宝物が隠されていたという伝説があり、宝島(ほおじま)と呼ばれていたものが朴島になったという伝説のある島。朴島では難島という地理的特性を活かし白菜の種を採るために菜の花が栽培されており、春には丘一面に菜の花が咲き、その後には海と島々が見渡せ、穏やかな浦戸諸島の景色が広がる。



⑥ しばり地蔵

日和山には「しばり地蔵」と呼ばれる石像がある。その昔、港繁栄時代にこの港にあつまる女性、その恋人の出港をとめるために、この像に祈願して荒縄で巻いたことから、「しばり地蔵」と呼ばれるようになった。「しばり地蔵」は、この地方では「すばり地蔵」と呼ばれている。



⑦ 松林寺の「化粧地蔵」

集落の奥の松林寺に「化粧地蔵」と呼ばれるお地蔵さまがある。古くからこのお地蔵さまの顔に白粉を塗って祈願すると美しい子宝が授かると言われており、今もなお化粧が絶えないと言われている。



① 松崎神社
鹽竈神社十四末社の一座にあげられている松崎神社(桂島神社)は、奥津比古老翁神・奥津比賣老女神いわゆる「お嬢様」が祀られている。神社の鎮守の森には、この地方が北限とされる常緑樹のタブノキの大木が繁茂し屋でも暗く、この境内の木に刃物を入れれば天罰が下るといふ言い伝えもある。



② 白石廣造邸跡
石浜集落の南の端、津森山への登り口付近にある公園のような場所が、白石廣造氏の邸宅の跡である。白石氏は塩竈築港や塩竈の発展に力を尽くし、明治4年石浜に「白石廻漕店(白石商会)」を設立し、北海道や三陸の各港との廻漕業を興したのをはじめ数々の事業に着手、さらに開成丸・権現丸・洪栄丸の三帆船を以って遠洋漁業(ラッコ・オットセイ猟)を興した。敷地内には母屋は残っていないが、屋敷の礎石や石蔵、庭園の石燈籠が残っており当時の繁栄を偲ぶことができる。

■お得なチケットを利用しよう
1日乗り放題券を1,000円(中学生以上)で販売しています。
●発売期間及び利用可能日/「ゆめ博」開催期間の土・日・祝日
●販売場所/市営汽船貨物受付所(1番乗り場付近の「プレハブ」)
●対象/キーワードラリーに参加する方
小学生は、学校で配布された「どこでもパスポート」または学校の名札を市営汽船乗り場の貨物受付所で提示すると、「うらと子どもパスポート」が発行され無料で乗船できます。

1200年神々の回廊 ~神に導かれた3つの道~ キーワードラリー応募要項

「神々の道」・「門前の道」・「海の道」の各キーワードを集め、アンケートに応じて、塩竈の特産品を当てよう!

【開催日】平成30年9月29日(土)~10月31日(水)
「ゆめ博」期間中の土・日曜 10:00~16:00
※「神々の道」・「海の道」は祝日も開催

【参加方法】
○それぞれ『道』のおすすめポイントのうち、4~5か所にキーワードが設置されています。どこにキーワードがあるかは行ってみたいのお楽しみです。
○キーワードを並べ替えると塩竈にちなんだ4~5文字の単語が完成します。順に並べ替えて専用の応募はがき(マップに挟み込み)に記入してください。
○キーワードは『道』ごとに完結します。
○マップ・応募はがきは、開催日に「塩竈観光物産案内所」で配布しています。配布時間:8:45~16:00

「1200年 神々の回廊」~神に導かれた3つの道~ アンケートのお願い

マップに挟み込みしている「『道』のキーワード応募はがき」に、「参加者アンケート」をお願いしています。今後の企画の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方で、かつ、キーワード正解者の中から、抽選で30名様に塩竈の特産品をプレゼントします。
※抽選結果は、発送をもって代えさせていただきます(11月10日消印まで有効)。
※記入いただいた個人情報、当選された方への商品発送以外には使用いたしません。
※応募は、1つの『道』につき、お一人様1回までとします。

お問合せ

- 塩竈観光物産案内所 (JR本塩竈駅構内)
平日 10:00~16:00
ゆめ博期間の土日祝日 8:45~16:00
TEL 022-362-2525
- 塩竈市観光物産協会 (塩竈市産業環境部観光交流課内)
平日 8:30~17:15
TEL 022-364-1165



神々の道

「鹽竈神社」をはじめ、古来より塩竈の地を見守ってきた数々の神様に縁のある道を巡る。かの松尾芭蕉も松島を訪ねる前に鹽竈神社を参拝したことが『奥の細道』にも綴られている。

⑤塩竈市杉村惇美術館
洋画家・杉村惇氏の世界に直に触れられる美術館。静物画をはじめとした杉村氏の作品を常設展示するほか、市有形文化財指定の建物（昭和25年建築）も見どころの一つ。
*開館/10:00~17:00(最終入館16:30)
*休/月曜(祝日はその翌日)・年末年始
*観覧/常設展：一般200円、高校生100円、中学生以下無料。企画展は別途。

④荻原醸造
「鹽竈神社」の御用商人として、江戸時代から続く老舗。店先の大きな仕込み樽が目印の外観で、建物は江戸後期に建てられたもので170年は経っている。
*営業/9:00~17:00
*休/不定休

③旧亀井邸
大正13年(1923年)に亀井商店(現カメイ㈱)の初代社長が建築。和館に洋館を取り入れた「和洋併置式住宅」の建築であり、現代の技術では再現が難しいとされるほど、極めて歴史的価値の高い建造物。
*開館/10:00~15:30
*休/火曜・水曜・木曜
*観覧/無料

②丹六園
「鹽竈神社」の門前町にある、木造・町屋作りの風情を感じる建物は1720年創業。銘菓『志ほがま』は、代々受け継がれた昔ながらの製法で塩竈の古き良き味を守り続けている。
*営業/8:30~17:00
*休/第1・3水曜

①太田與八郎商店
現在も昔と変わらぬ味を作り出している味噌醤油醸造元。昭和4年に、釘を使わずに建てられた店舗付住宅と大正14年当時世界的に流行したモダニズム建築の工場は塩竈市文化景観賞を受賞している。
*営業/9:00~17:00
*休/第1・3・5日曜
ゆめ博期間は、10/21のみ休業。

②表参道(表坂)

①志波彦神社・鹽竈神社
鹽竈神社は、陸奥国一之宮として1,200年の歴史を誇り、主祭神の鹽土老翁神(しおつちおじのかみ)は、大漁祈願や海上安全・安産の神として信仰され、志波彦神社は、「延喜式名神大社」として、古くから崇敬されている。

⑥七曲坂
鹽土老翁神が通られた坂道と伝えられており、鹽竈神社最古の参道。七曲坂の道を曲がる度に心身共に清められる古道。*舗装されていない自然道なので、足元に注意!

⑦鞘堂(さやどう)
七曲坂入口の四方跡公園の中には「鞘堂」がある。ここには昔、氏子三祭で使用する御神輿を奉安していた。また、この四方跡公園には、鹽土老翁神が座って休まれた「おこしかけ石」と言われる石や数々の神社にまつわる石碑がある。

②表参道
鹽竈神社の表参道は202段の石段からなり、「表坂」「男坂」などとも呼ばれている。年3回行われる氏子三祭では、氏子たちが約1トンの御神輿を担いでこの石段を上り下りする。

③御神木
表参道から楼門をくぐり手水舎の奥にある「老杉御神木」。樹齢約800年とも言われ、塩竈市の天然記念物に指定されている。

④亦無岡(またなのおか)
七曲坂を上った先には神龍社があり、その西隣に亦無岡(またなのおか)がある。明治天皇が東北御巡幸の際、この岡にて松島の景色をご覧になられたと言われている。

⑤鹽竈神社博物館
伊達綱村が奉納した太刀「来国光」(国指定重要文化財)をはじめ、伝来の宝物を中心に、鹽竈神社にかかわる歴史資料等を展示している。
*開館/8:30~16:30 *休/無(臨時休館有)
*観覧/一般200円、高校生・中学生150円、小学生80円

⑧御釜神社
鹽竈神社の末社であり、鹽竈神社と同じ鹽土老翁神が祀られている。芭蕉は塩竈を訪れた際、この御釜神社にも訪れ、神籠を拝したことが奥の細道に記されている。塩竈の地名の由来は、こちらの御釜神社に伝わる神話による。

⑦浦霞醸造元(株)佐浦(向拝)
浦霞は1724年から、鹽竈神社の御神酒酒屋として、伝統を受け継ぎ丁寧な酒を造り続ける。社屋玄関にある向拝は、かつて鹽竈神社の別当寺として大きな勢力を誇った法蓮寺の向拝を移築したものだ。
*営業/10:00~17:00
*休/日曜・年末年始(臨時休業有)
ゆめ博期間のみ、日曜も営業。

⑥旧さびや旅館
明治初期に建てられ、当時としては大変珍しい木造3階の建物で、2・3階の各部屋は、その素材を生かした天井など、趣きある仕上がりとなっている。また、1階は、当時の趣きを残したまま温もりあるカフェとして使われている。
【まちかど博物館】*開館/土曜・日曜11:00~14:00
*観覧料/大人300円、中学生以下200円、就学前無料

門前の道

江戸、大正、明治、昭和初期と各時代の塩竈を彩った歴史的建造物を巡る道。門前町の風情を楽しんでいただきたい。

